



iPhone 5sの上部コンポーネントケーブルの交換

iPhone...

作成者: Sam Goldheart



はじめに

iPhone 5sのフラッシュ、マイク、スリープ/電源ボタンのケーブルを含む上部コンポーネントケーブルを交換するにはこの手順をご利用ください。

この手順ではバッテリーを取り外します。接着ストリップを使ってバッテリーを取り外す方法が一番安全ですが、交換後はバッテリーに接着ストリップが付いていません。バッテリー交換の際には両面テープをバッテリーに装着してください。バッテリーはデバイスの中で固く装着されていますが、テープはガタガタと音が出るのを防いでくれます。

またこの手順を利用して次のパーツも交換できます。[ロジックボードのアンテナブラケット](#)、[コネクタクリップ](#)

[video: <https://www.youtube.com/watch?v=cJUKOvFQUWU>] [video: <https://www.youtube.com/watch?v=cJUKOvFQUWU>]



ツール:

[Anti-Clamp](#) (1)
[P2 ペンタローブドライバ](#) (1)
[iFixit開口ツール](#) (1)
[ハンドル付き吸盤](#) (1)
[スパッジャー](#) (1)
[#000 プラスドライバ](#) (1)
[ピンセット](#) (1)
[SIMカード取り出しツール](#) (1)
[万能ハサミ](#) (1)
[iPhone用スタンドオフネジドライバ](#) (1)



部品:

[iPhone 5s Audio Control and Power Button Cable](#) (1)

手順1 — ペンタローブネジの取り外し



⚠ iPhoneのバッテリー残量を25%以下まで消費された状態で作業を始めましょう。充電されたリチウムイオンバッテリーはダメージを与えると引火したり爆発する恐れがあります。

- 作業を始める前にiPhoneの電源を必ず切ってください。
- Lightning コネクタの両側にある3.9 mmのペンタローブネジを2本外します。

手順2 — ディスプレイガラスの補強



- フロントガラスが割れている場合、ガラスに透明な補強テープを貼りましょう。作業中ガラスが飛び散ったりして怪我をしないようご注意ください。
- 画面全体を何重にも貼り、しっかりと固定します。
- ① テープを表面に貼ると、画面を持ち上げた際に画面構造を保ってくれます。

⚠ 修理作業中はガラスの破片が飛び散り、目に入ることがないように保護メガネを装着してください。

手順3 — ディスプレイの分離方法



- ① 次の手順では、本体からディスプレイを外します。ディスプレイはガラスのスクリーンとメタルクリップが付いたプラスチック製のベゼルからできています。
- この作業でどんなツールを使ってもディスプレイ全体を本体から完全に取り外してください。
 - スクリーンが離れてきたら、第1番目の画像にあるように、プラスチック製の開口ツールをフレームとメタル製本体の間に差し込み、ケースからメタルクリップを外します。
- ★ ディスプレイベゼルが外れた本体を再組み立てする際は、デバイス本体を密封するためにプラスチックベゼルとガラスの間に薄い接着タブを付けることもできます。

手順 4 — リバースクランプの使用方法



- ① 次の2つの手順では、デバイスの開講作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。リバースクランプを使用しない場合は、この2つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。
- ② リバースクランプの詳細な使用方法については、[こちらのガイド](#)をご覧ください。
- 青いハンドルを後ろ側に引いて、クランプのアームをロック解除します。
 - iPhoneの右端もしくは左端上にアームをスライドして乗せます。
 - 吸盤カップを、ホームボタンすぐ上のiPhoneの下端付近に装着します。上部に一つ、下部に1つずつ取り付けます。
 - 両側のカップをしっかりと押し付けて、取り付けたい位置に装着します。
- ③ デバイスの表面が滑りやすく、リバースクランプがしっかりと装着できない場合は、[梱包用テープ](#)で表面を覆ってから、強いグリップを作ることができます。

手順 5



- 青いハンドルを後方に引き、リバースクランプのアームのロックを解除します。
 - ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。
 - ① 両側の吸盤の位置が合っていることを確認してください。位置がずれてきた場合は、吸盤を少し緩めてアームの位置を合わせてください。
 - クランプで十分な隙間が作れたら、スクリーンのプラスチックベゼルの下にオープニングピックを挿入します。
 - ① クランプで十分な隙間が作れない場合は、さらに接着面に熱を当てて、クランプを1/4程度時計回りに回してください。
- ⚠ 一回ごとの作業で1/4以上回さないでください。クランプをまわしたら数秒待ってください。リバースクランプの効果を待ってから、作業を続けてください。**
- 次の2つの手順はスキップしてください。

手順 6 — 手動による開口方法



- リバースクランプをご利用にならない場合は、フロントパネルを持ち上げるため、シングルタイプの吸盤カップを使います。
- カップをしっかりとホームボタン上部のスクリーンにしっかりと装着させます。
- ① カップの吸盤がスクリーンにしっかりと装着していることを確認してください。

手順7ー フロントパネルアセンブリを持ち上げます



⚠ フロントパネルにはクリップが付いており、デバイス本体部分と幾つかのリボンケーブルで繋がっています。ここでの作業の目的はクリップを外し、ケーブルの接続が外れる程度まで本体を開口することです。破損を防ぐために、ゆっくりと丁寧に作業を進めてください。

① 吸盤カップが隙間なくホームボタン付近のフロントパネルアセンブリにしっかりと装着しているか確認してください。

- iPhone を片手でしっかりと抑えながら、吸盤カップを少しずつ引き上げて、本体リアケースからフロントパネルのホームボタン端を引き離します。
- 吸盤カップを引き上げながら、プラスチック製の開口ツールで、ゆっくりとリアケースの端からフロントパネルアセンブリをこじ開けていきます。

⚠ 時間をかけてゆっくりと同じ力加減で作業します。このフロントパネルアセンブリは数あるデバイスの中でも特に頑丈に装着されています。

手順 8



⚠ リアケースからフロントパネルアセンブリを完全に外さないでください。幾つかのリボンケーブルが本体上部と繋がった状態にします。

- 吸盤カップの持ち手(ノブ)を緩めて、吸盤を外します。
- スクリーンから吸盤カップを外します。

手順 9 — Touch IDケーブルブラケットの取り出し



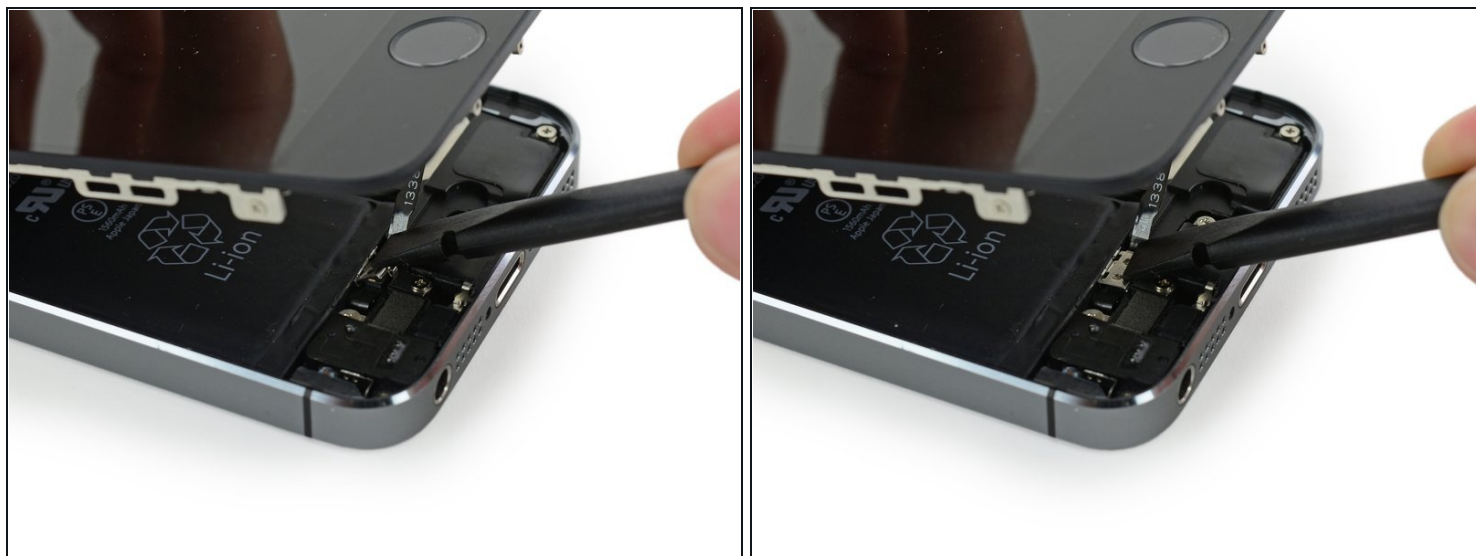
- ホームボタンケーブルを覆うメタル製ブラケットが取り出せる程度まで本体を開きます。
- ⚠ 本体を大きく開きすぎないで下さい。ホームボタンケーブルやホームボタンケーブルが差し込まれたソケットにダメージを与えてしまうことがあります。ケーブルが緩んでいる状態にします。ーケーブルが伸びきっていたら、開きすぎです。
- 新規購入時のオリジナルのホームボタンアセンブリではTouch IDが使用できます。ケーブルの破損後、新しいホームボタンを取り付けた場合、ホームボタンとしての機能は回復できますが、**Touch ID**は使用できなくなります。
 - スパッジャーの先端を使ってブラケットを外し、ピンセットで取り出します。
- ① 次の2つの手順は再組み立てに関連しています。再組み立てを始めるまではこの2つをとばして手順12から作業を続けます。

手順 10



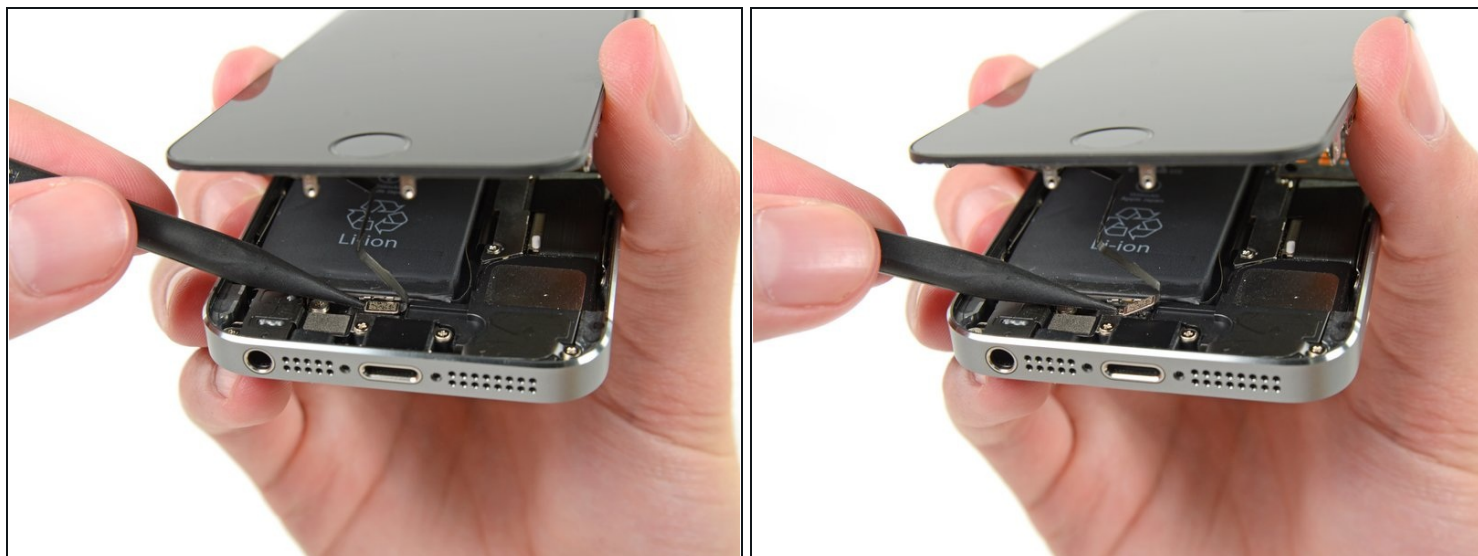
- ☑ 再組み立ての際は、Touch IDケーブルのブラケットを再装着してください。ブラケットの先端をバッテリーとメタル製タブの正面にあるTouch IDケーブルコネクタの間をスライドします。下部はコネクタ上に取り付けてください。
- ☑ ブラケットの上部をTouch IDケーブルコネクタ上で左側から右側にスライドします。

手順 11



- ★ 再組み立ての際は、スパッジャーの平面側先端を使って、Touch IDケーブルブラケットの正面端をケーブルコネクター側に折り曲げます。
- ① ブラケットが折りたためない場合は、ブラケットを取り出してケーブルコネクター上に正しく装着するように再度スライドしてください。

手順 12 — ホームボタンケーブルコネクタの接続を外します。



- スパッジャーの先端を使って、ソケットからホームボタンケーブルコネクタの接続を外します。

⚠ ソケットからケーブルコネクタのみ外します。ソケット全体に接触しないでください。ソケットは接着剤で固定されたケーブル上に搭載されているため、慎重に扱わなければソケット自体を破損してしまうことがあります。

手順 13 — デバイス本体の開口



- コネクターの接続が外れたら、本体上部を蝶番のようにして、アセンブリのホームボタン先端をリアケースから引き上げます。
- ディスプレイを約90度で開き、作業中固定するため、ディスプレイの後ろに衝立を用意します。
- 作業中、輪ゴムでディスプレイを固定してください。これはディスプレイケーブルに過度な圧力が加わらないようにするためです。

① 急な場合は、未開封の飲用缶を使ってディスプレイを固定してください。

手順 14



- 基板に留められたメタル製バッテリーコネクターのブラケットから1.6 mm #000プラスネジを2本外します。

手順 15



- iPhoneからメタル製バッテリーコネクターのブラケットを外します。

手順 16



- スパジヤーの平面側先端を使って、基板上のソケットからバッテリーコネクターの接続を丁寧の外します。

⚠ バッテリーコネクタのみ持ち上げてください。基板上のソケットや基板には接触しないでください。基板上のコンポーネントにダメージを与えてしまうことがあります。

手順 17



- 基板上に留められたフロントパネルアセンブリケーブルブラケットから次のネジを取り出します。
- 1.7 mm #000プラスネジー1本
- 1.2 mm #000プラスネジー1本
- 1.3 mm #000プラスネジー1本
- 1.7 mm #000プラスネジー1本
- ① この1.7 mmネジは磁化スクリュードライバーに対応していません。取り外しの際は紛失に十分ご注意ください。

⚠ 再組み立ての際には上記手順にあるネジの位置を十分に確認してください。謝って右側下のネジ穴に1.3 mmのネジや1.7 mmネジのどちらかを装着してしまうと、電話が正しく機能せず、ロジックボードに致命的なダメージを与えてしまうことがあります。

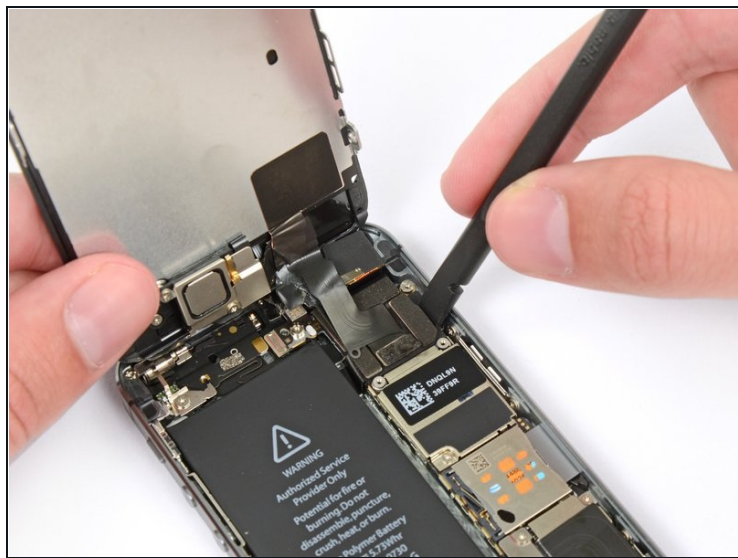
⚠ ネジを固く締めすぎないようにご注意ください。簡単にネジが留まらない場合は、誤ったサイズのネジを装着している可能性があります。無理に留めないでください。

手順 18



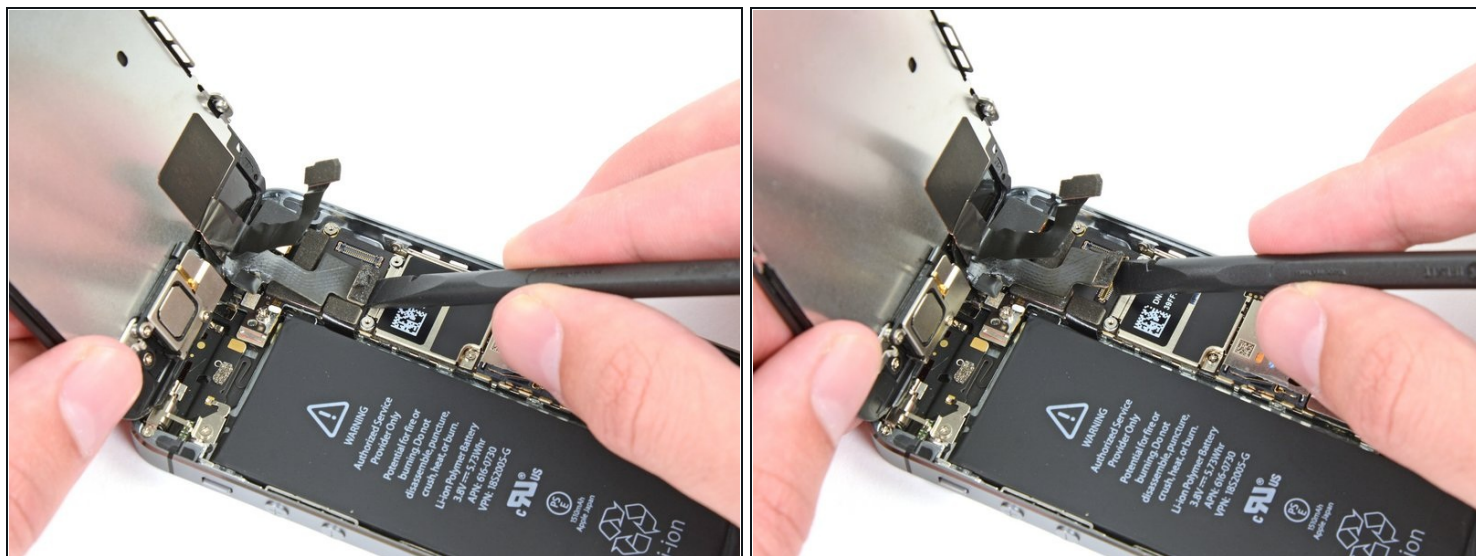
- 基板からフロントパネルアセンブリのケーブルブラケットを取り外します。

手順 19



- スパッジャーや爪先を使って、正面カメラとセンサーケーブルの接続を外します。

手順 20

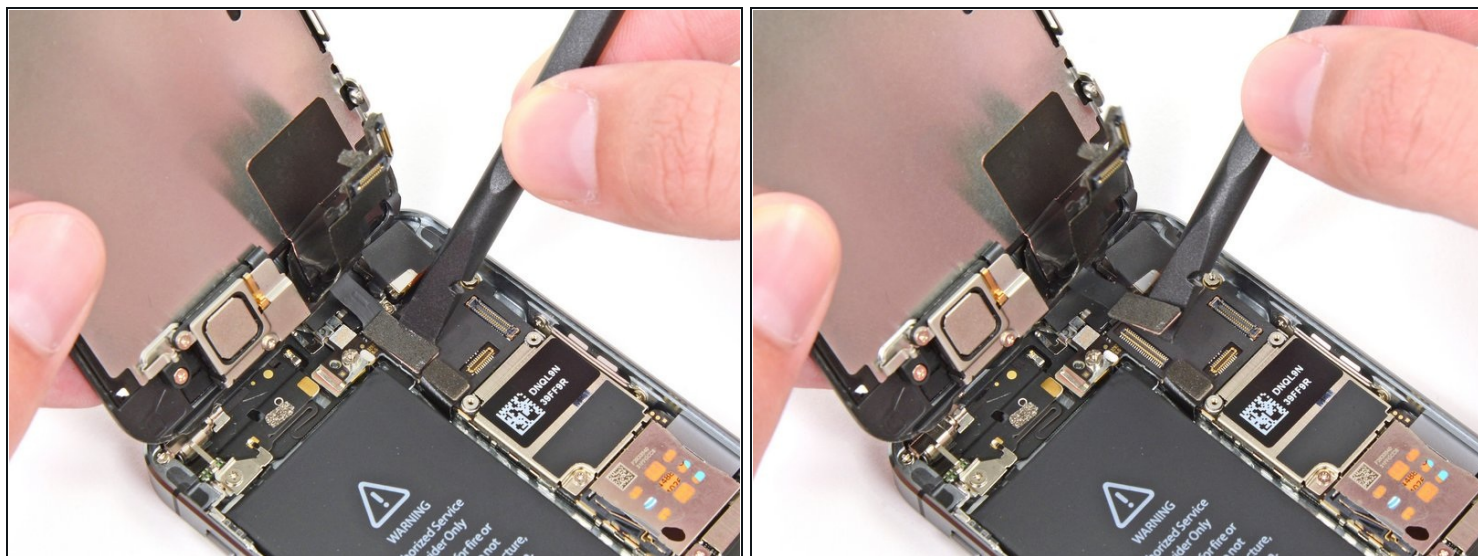


⚠ この手順でケーブルの接続を外したり、取り付けたりする前に、バッテリーの接続が外れているか必ず確認してください。

- LCDケーブルコネクターの接続を外します。

★ デバイスを再組み立てする際にLCDケーブルがコネクタから外れてしまうことがあります。これは電源を入れた時、黒い画面に白い線が入る状態の原因となります。この症状がでたら、単純にケーブルをコネクタに再接続をして再起動してください。再起動方法はバッテリーを一度外して、再度取り付けます。

手順 21



- 最後に、デジタルライザーケーブルコネクターの接続を外します。

手順 22



- リアケースからフロントパネルアセンブリを外します。

手順 23 — SIMカード



- SIMカード取出しツールか紙クリップ先端を、SIMカードトレイの小さな穴に差し込みます。
- 押し続けて、トレイを取り出します。力を入れて押してください。

手順 24



- iPhoneからSIMカードトレイアセンブリを取り出します。
- ☒ SIMカードを再挿入する際は、トレイに対して正しい方向に入っているか確認してください。

手順 25 — ロジックボード



- スパッジャーを使って、ロジックボード上のソケットからボタンアセンブリを持ち上げて外します。

⚠ コネクターのみこじ開けるようご注意ください。ロジックボード上のソケットに接触してしまうと、コネクター全体に損傷を与えてしまうことがあります。

手順 26



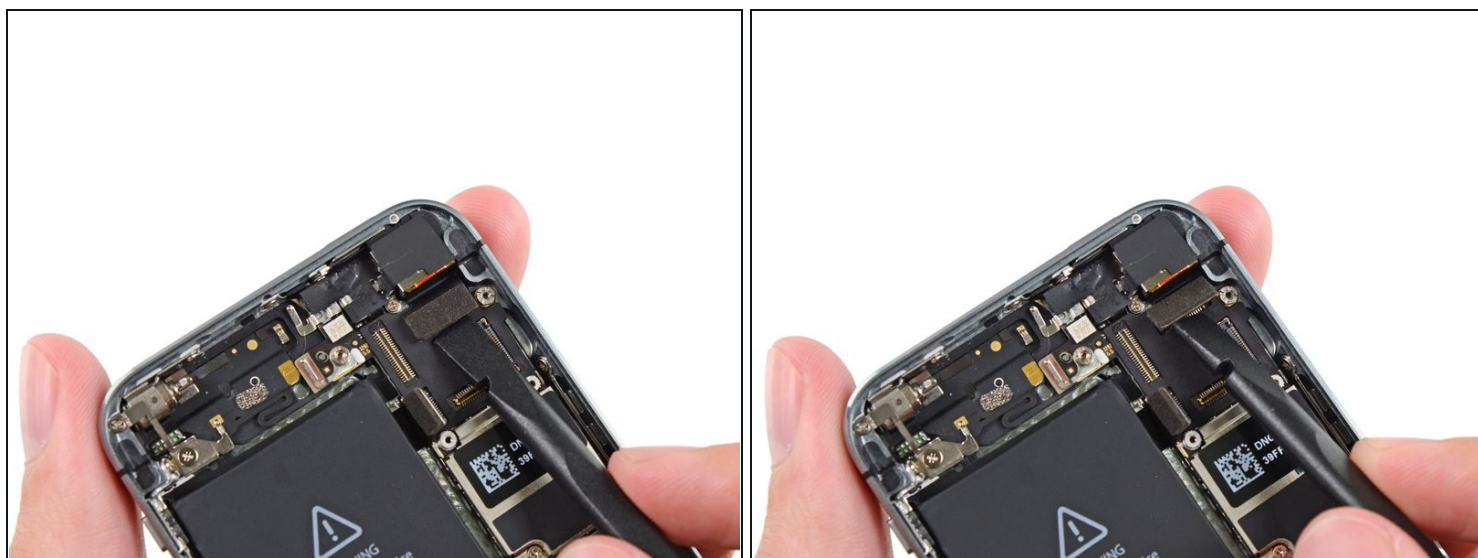
- スパッジャーを使って Lightning コネクターケーブルをロジックボード上のソケットから持ち上げます。
- ロジックボードの邪魔にならない位置に Lightning コネクターケーブルを折り曲げます。

手順 27



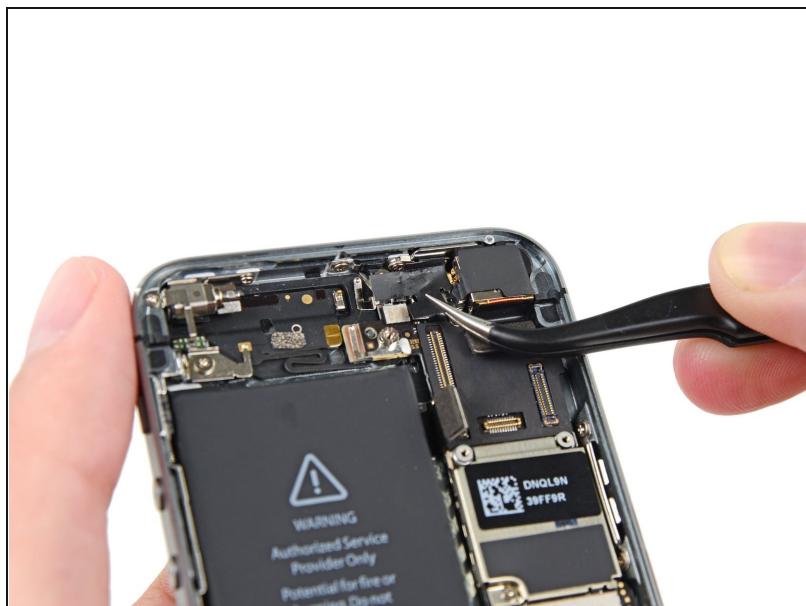
- スパジヤーの先端を使ってロジックボード上のソケットからアンテナケーブルを持ち上げて外します。

手順 28



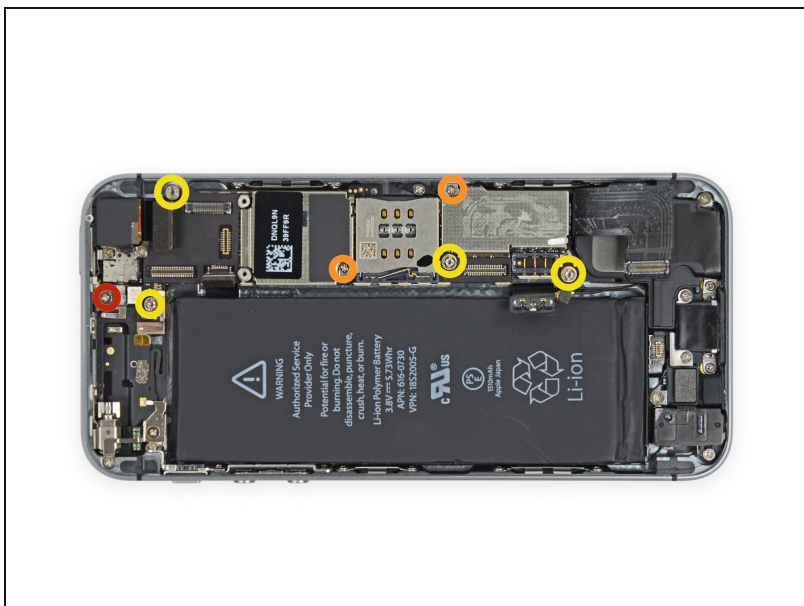
- スパジヤーの平面側先端を使って、ロジックボード上のソケットから正面カメラケーブルの接続を外します。

手順 29



- カメラのフラッシュブラケットを覆っているテープを取り外します。

手順 30



- ロジックボードから次のネジを外します。

- 2.4 mm #000プラスネジー1本

🔩 このネジはロジックボード底のメタル接合部分も同時に留めています。プラスブラケットの下に収まっていますが、これが外れている場合は、[この手順](#)を参照して取り外してください。

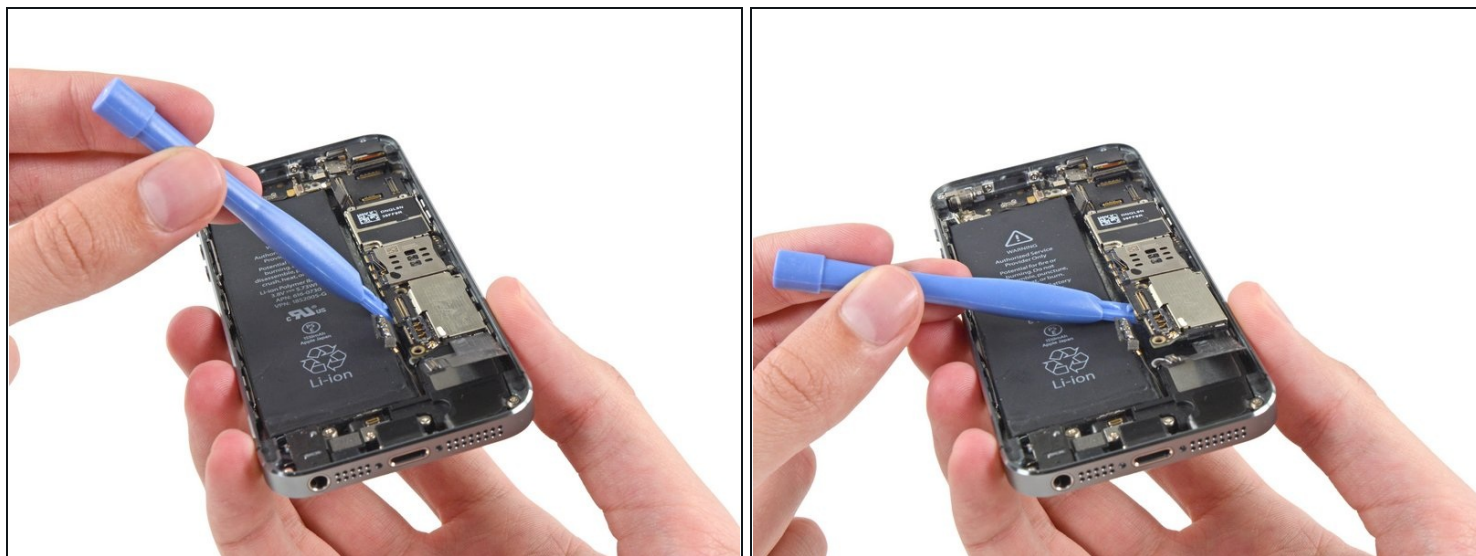
- 2.3 mm #000プラスネジー2本

- 2.8 mmスタンドオフネジー4本

ℹ️ スタンドオフネジを外すには、[スタンドオフドライバー](#)もしくはビットを使うのが最適です。

⚠️ 困ったときには、小サイズのマイナスドライバーも役に立ちます。ただし、滑って周囲のコンポーネントにダメージを与えないよう細心の注意を払ってください。

手順 31



- プラスチック開口ツールを使って、指で掴めるまでロジックボードを落ち上げます。

手順 32

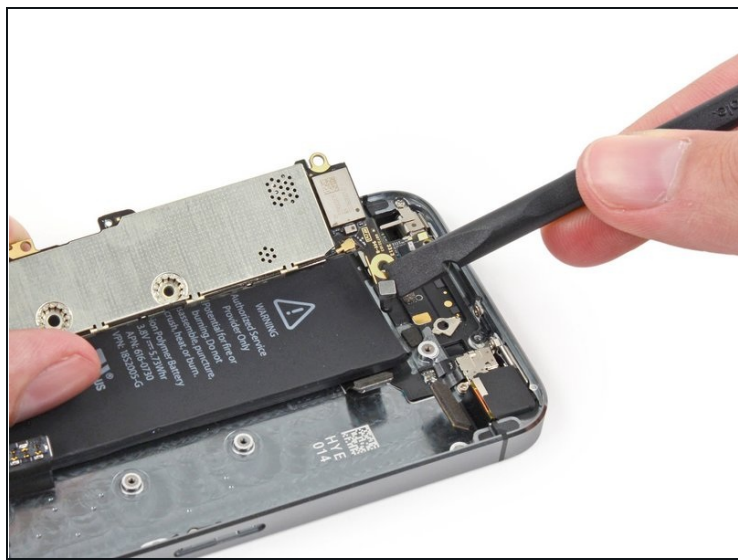


- 背面カメラからロジックボードをゆっくりと引き離していきます。

⚠ アンテナケーブルがまだ繋がっているため、ロジックボードを完全に取り外さないでください。

- 本のページをめくるように、ロジックボードをバッテリー側に返します。

手順 33



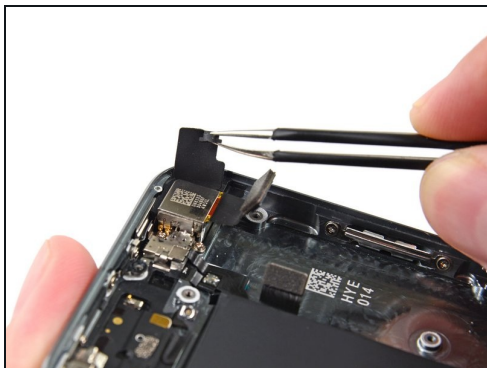
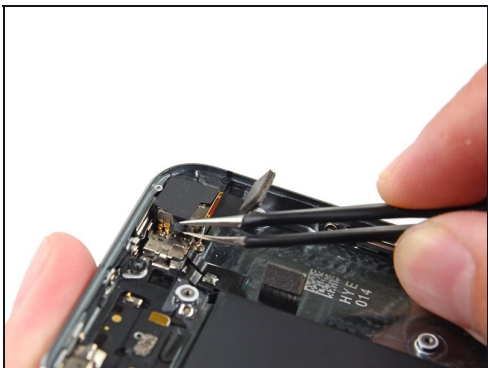
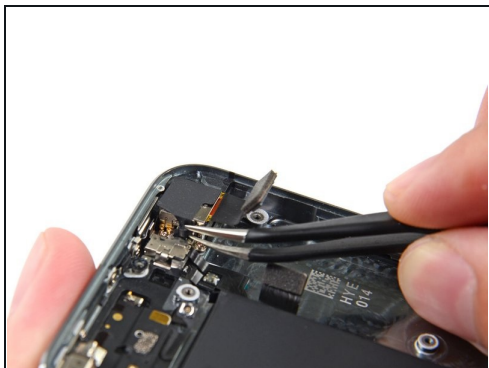
- スパッジャーの平面側先端を使って、ロジックボード裏側のアンテナケーブルの接続を外します。
- iPhoneからロジックボードを取り出します。

手順 34



- この時、背面カメラ付近に取り付けられた小さなメタル製のプレートが取れてしまうことがあります。
- ① このプレートはとても小さくて紛失しやすいため、作業中は取り出して、無くさないように保管しておくことをお勧めします。
- ピンセットを使ってブラケットの下からプレートを掴み、背面カメラの左側へ動かし取り出します。
- ☑ 再組み立ての際は、小さなタブのついたプレートを右側へ、長い平らなプレートの端を本体上部に向けて配置します。

手順 35 — 背面カメラ



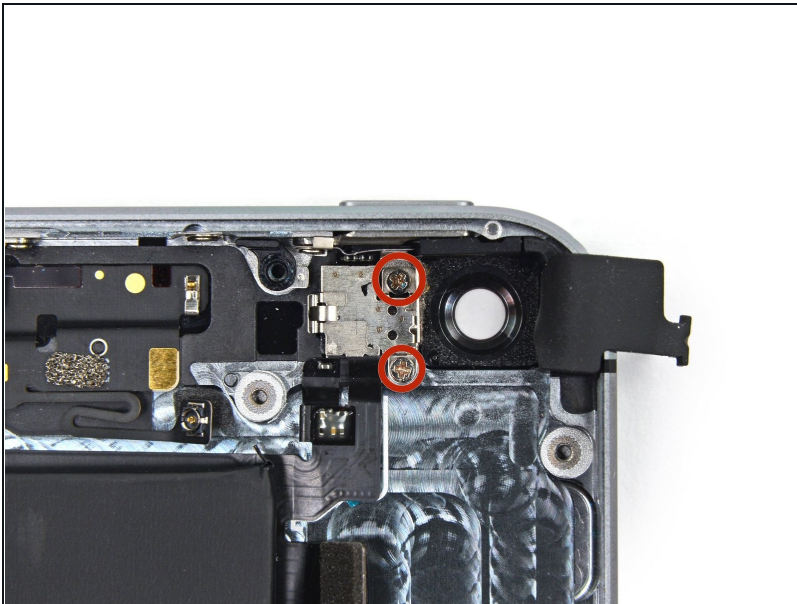
- ピンセットを使って、ゴム製カメラカバーをクリップから外して背面ケースの外側に向けてひっくり返します。
- ⚠ このカメラカバーを完全に取り外さないでください。背面ケースに付いた状態のままひっくり返して開けるだけで、取り外す必要はありません。

手順 36



- 背面ケースから背面カメラを取り出します。
- ☑ 再組み立ての際はカメラケーブルがロジックボードの裏のスロットに'U'字型に曲げられて取り付けます。
- ☑ ゴムのカメラバンパーが外れた場合は、iPhone本体を再組み立てする前にバンパーを交換してください。

手順 37 — カメラブラケット



- 背面カメラブラケットに留められた1.6 mm フィリップス #000ネジを2本取り外します。

手順 38



- 背面ケースから背面向きカメラブラケットを取り出します。

手順 39



- ケースからゴム製のカメラバンパーを外します。

手順 40 — バッテリー



- スパジヤーの先端をヘッドホンジャック近くのバッテリー接着タブ穴に挿入してください。
- スパジヤーを使ってタブを少し引き上げ、奥からタブを開いていきます。

手順 41



- 電話本体からバッテリー接着タブを上に向かって引き上げます。
- 2本の白い接着ストリップの間に留められた黒色のバッテリー接着タブを切断し、2本に分けます。

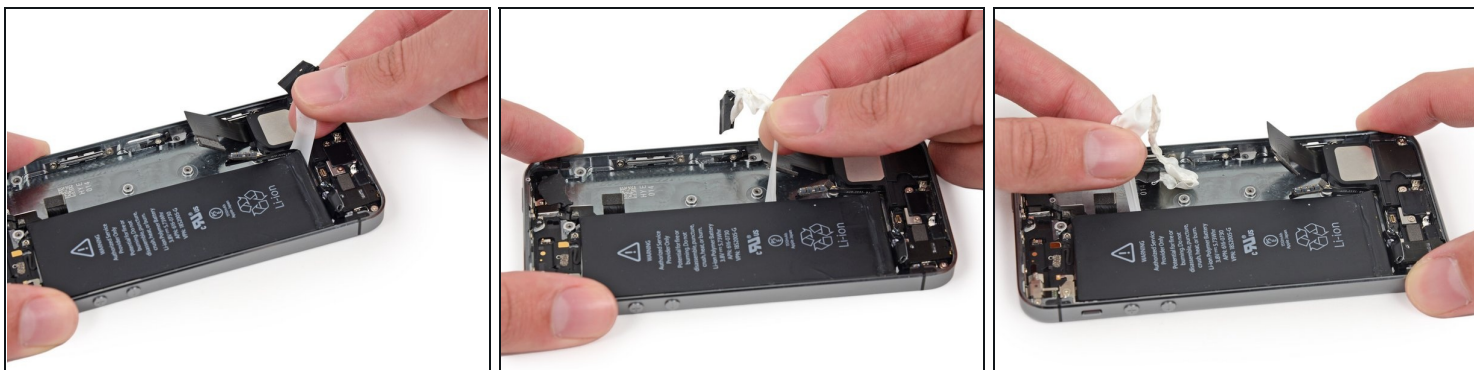
手順 42



⚠ 作業中、ストリップは平らでシワが入らないように注意しながら引っ張ってください。シワが入っているとストリップがくっついてしまい、うまく引き抜けずに壊れてしまいます。

- バッテリー用接着ストリップのうち1本を、バッテリーからiPhoneの底面に向けてゆっくりと引き抜きます。
- バッテリーとリアケースの間からストリップが出てくるように、ストリップに一定の張力をかけながらしっかりと引っ張ります。一番やりやすい方法は、ストリップを60°以下の角度で引っ張ります。

手順 43

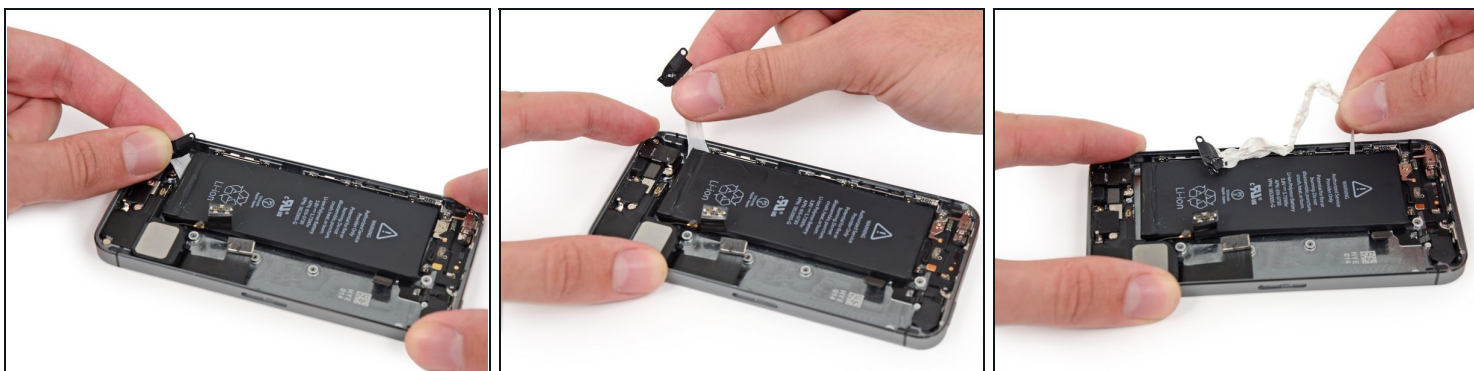


- ストリップを慎重にコーナーに通して、バッテリーの側面に沿ってストリップを移動させます。

⚠ バッテリーの角や、その他のiPhone内部の部品にひっかけないように注意してください。

- ① ストリップは元の長さの何倍にも伸びます。必要に応じてバッテリーの近くでストリップをつかみ直ししながら、ストリップ全体が外れるまで引っ張り続けます。

手順 44



- 2番目のストリップにも同じ作業を繰り返します。
- 両側のストリップが無事取り出せたら、次の2つの手順はスキップしてください。

⚠ バッテリーの下で接着剤が切れて取り出せなくなった場合は、残りの接着剤を取り除いてから次の手順に進みます。

手順 45



- 接着ストリップが切れてしまい、背面ケースからバッテリーを取り出せなくなった場合は、[iOpener](#) かヘアードライヤーを準備し、バッテリー裏の背面ケースに直接当てて温めてください。

手順 46



- iPhoneを裏返して、プラスチックカードをバッテリーのケース横と背面ケースの間に挿入します。
- ⚠ バッテリーを曲げてしまうことがないように、出来るだけカードを平らな状態で挿入してください。バッテリーにダメージを与えてしまうと、危険な化学物質が放出されることがあります。
- バッテリー裏の接着剤を剥がすためにカードを奥まで押し込んでください。

手順 47



- 背面ケースからバッテリーを取り出します。

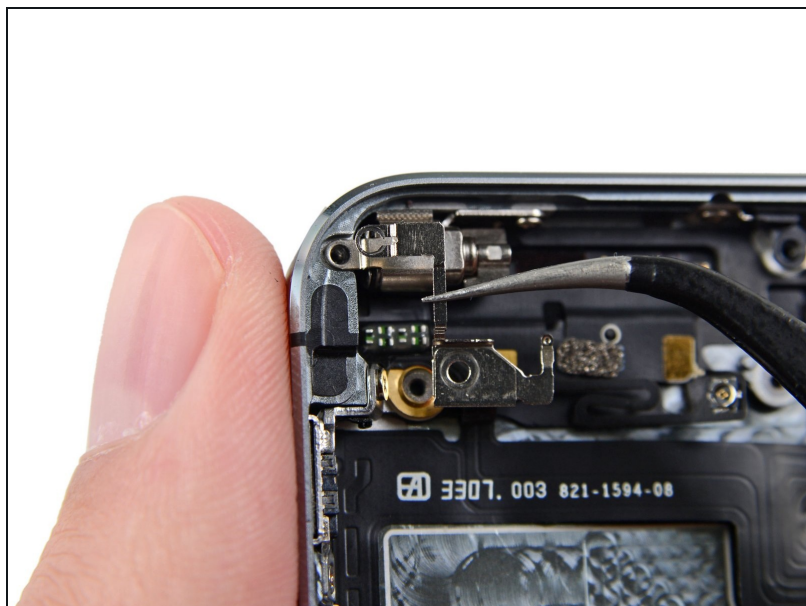
☑ バッテリーを再挿入する際は、バッテリーに取り付ける接着ストリップを交換するために[このガイド](#)を参照ください。

手順 48 — バイブレーター



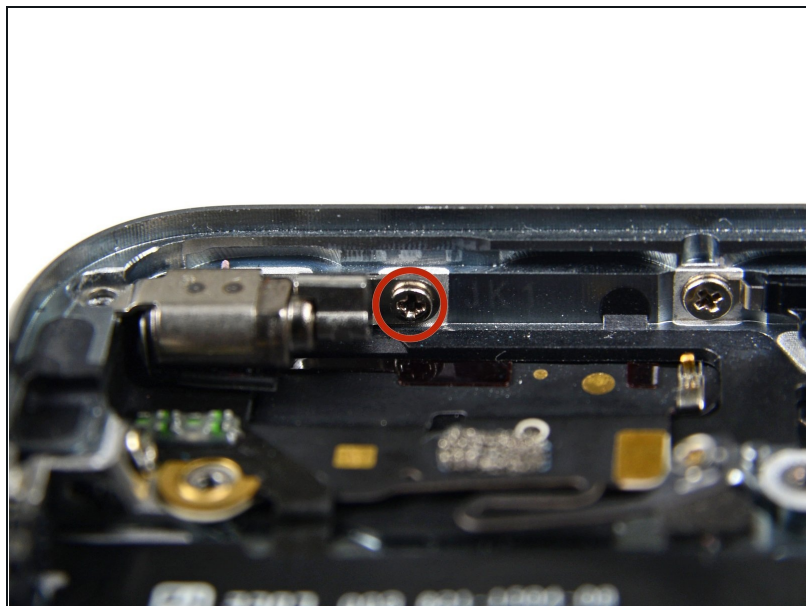
- バイブレーターブラケットから次のフィリップス#000ネジを取り外します。
 - 1.7 mmネジ—1本
 - 2.5 mmネジ—1本

手順 49



- ピンセットを使って、バイブレーターブラケットを取り出します。

手順 50



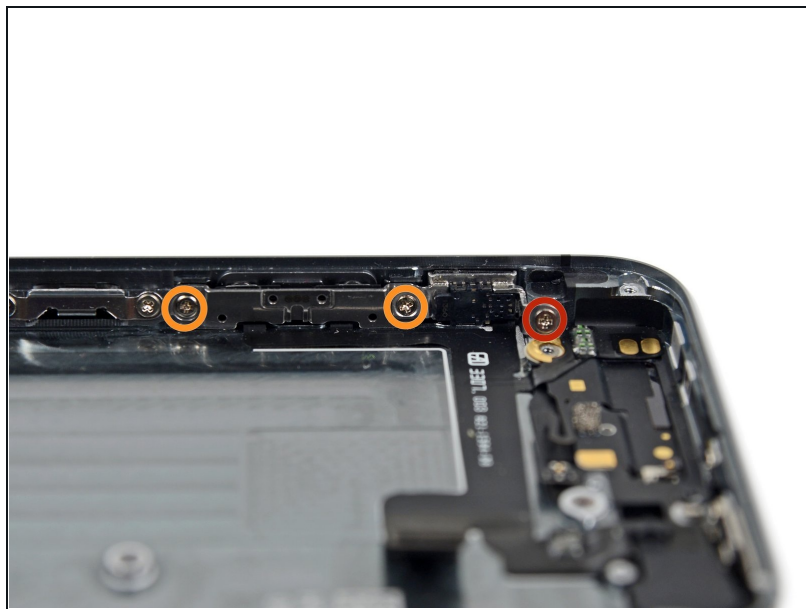
- 背面ケースに留められたバイブレーターから1.7 mm フィリップス #000ネジを取り外します。

手順 51



- ピンセットを使って、背面ケースからバイブレーターを取り出します。

手順 52 — 上部コンポーネントケーブル



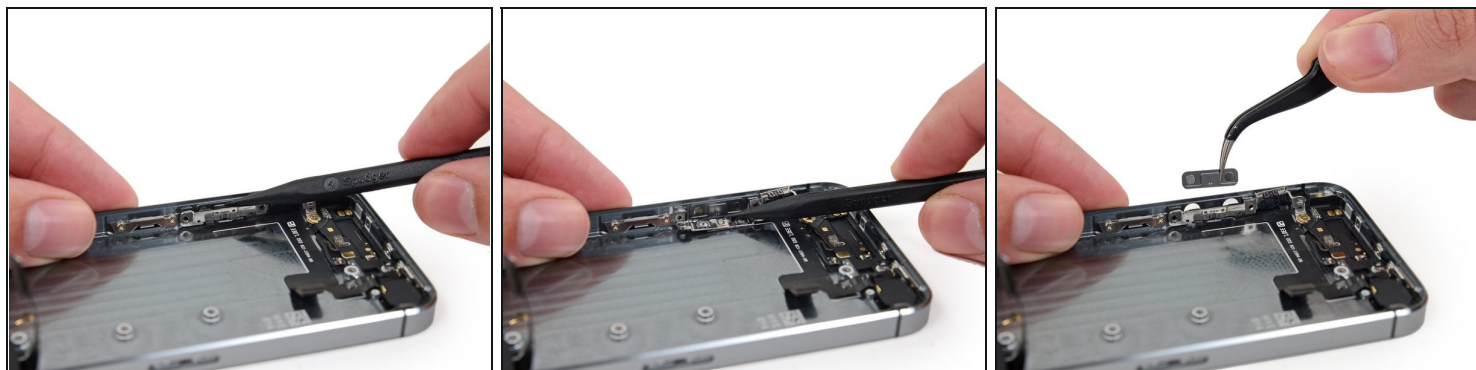
- 背面ケースの内側に留められたボリュームボタンとリングスイッチのブラケットから次のネジを取り外します。
 - 1.9 mm プラスネジ—1本
 - 1.6 mm プラスネジ—2本

手順 53



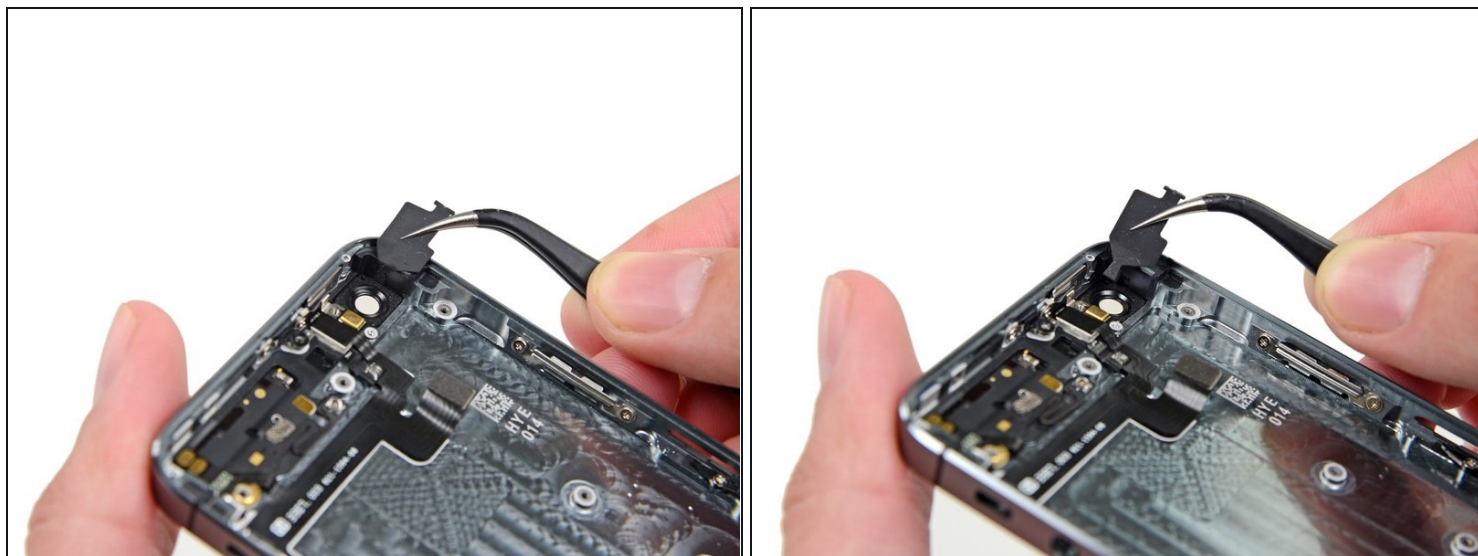
- スパッジャーの先端を使って、背面ケース内側からリングスイッチブラケットを押し出します。
 - リングスイッチを取り出します。
- ☑ 再組み立ての際は配置位置にご注意ください。赤いラインはボタンの上部に配置します。リングスイッチボタンの裏側にあるノッチも同じ位置で、ケーブル上のメカニカルスイッチと合わさります。

手順 54



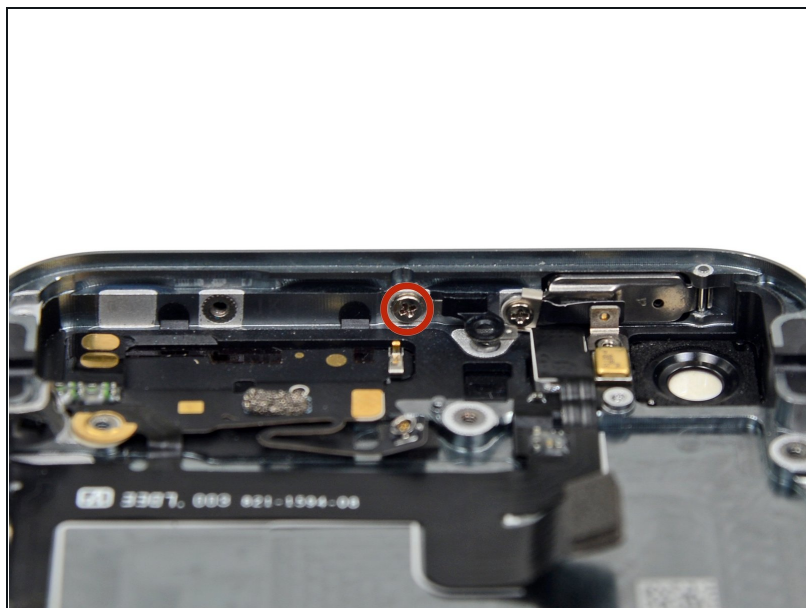
- スパッジャーを使って、背面ケースの内側からボリュームボタンブラケットを取り外します。
 - ボリュームボタンを取り出します。
- ☑ 再組み立ての際、'+'（ボリュームアップ）ボタンはリングスイッチに一番近い穴に組み合わせます。

手順 55



- ピンセットを使って、背面ケースの溝からゴム製の背面カメラカバーを取り出します。

手順 56



- 背面ケースに留められたロジックボードのアンテナブラケットから 1.3 mm #000 プラスネジを外します。

手順 57



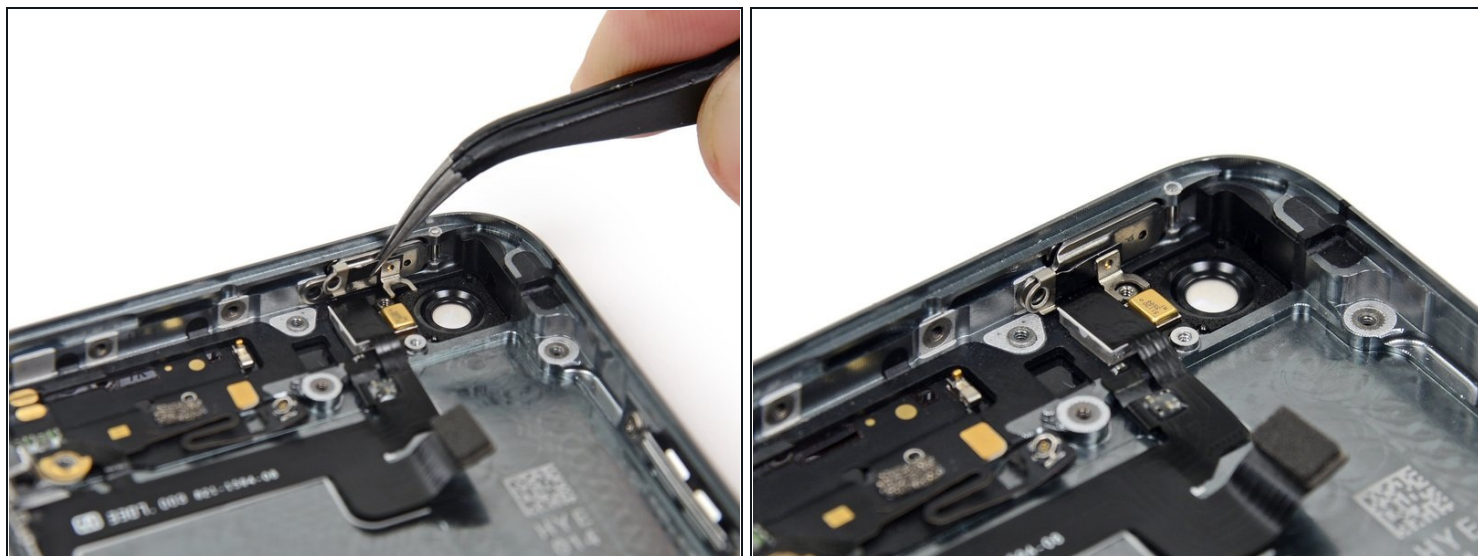
- ロジックボードのアンテナブラケットを取り出します。

手順 58



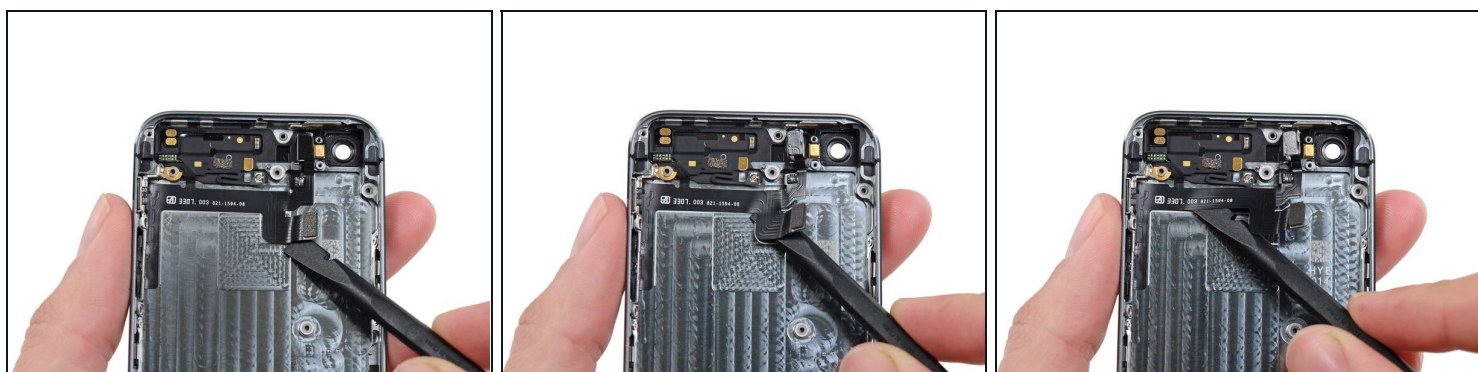
- コンタクトクリップと電源/スリープボタンのブラケットから 2.1 mm #000 プラスネジを外します。

手順 59



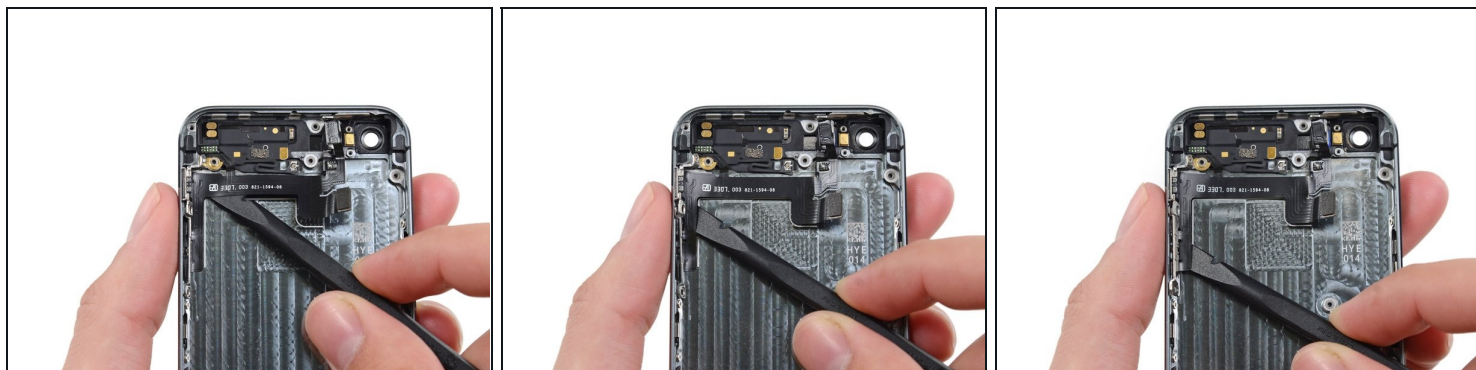
- iPhoneからコンタクトクリップを取り出します。
- ☑ 再組み立ての際は、ブラケットが背面カメラのフラッシュとケースの上部端の間に正しく装着されているか確認してください。

手順 60



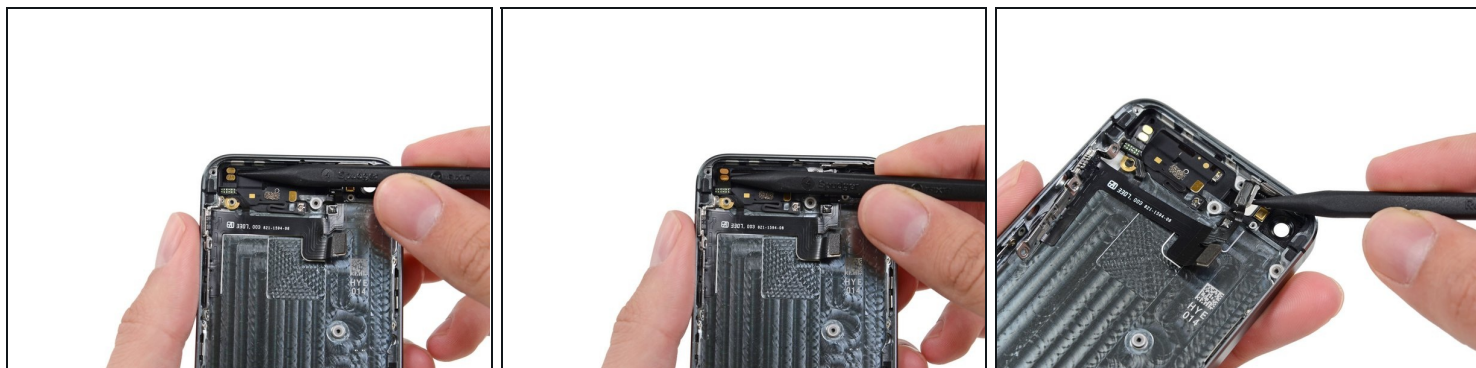
- スパジヤーの平面側先端を上部コンポーネントアセンブリケーブルの下に差し込み、横にスライドしてこれを背面ケースから外します。

手順 61



- スパッジャーの平面側先端をボリュームコントロールボタン付近のケーブルー部の下に差し込みます。

手順 62



- スパッジャーの先端を使って、背面ケースから上部アセンブリケーブルのバイブレーター接触部分に留められた接着剤を剥がします。
- 背面ケースのホールからフラッシュアセンブリがまだ出ていなければ、スパッジャーの先端を使って、アセンブリを押し出します。

手順 63



- スパッジャーの先端を使って、ケースからアセンブリのマイク部分を外します。

手順 64



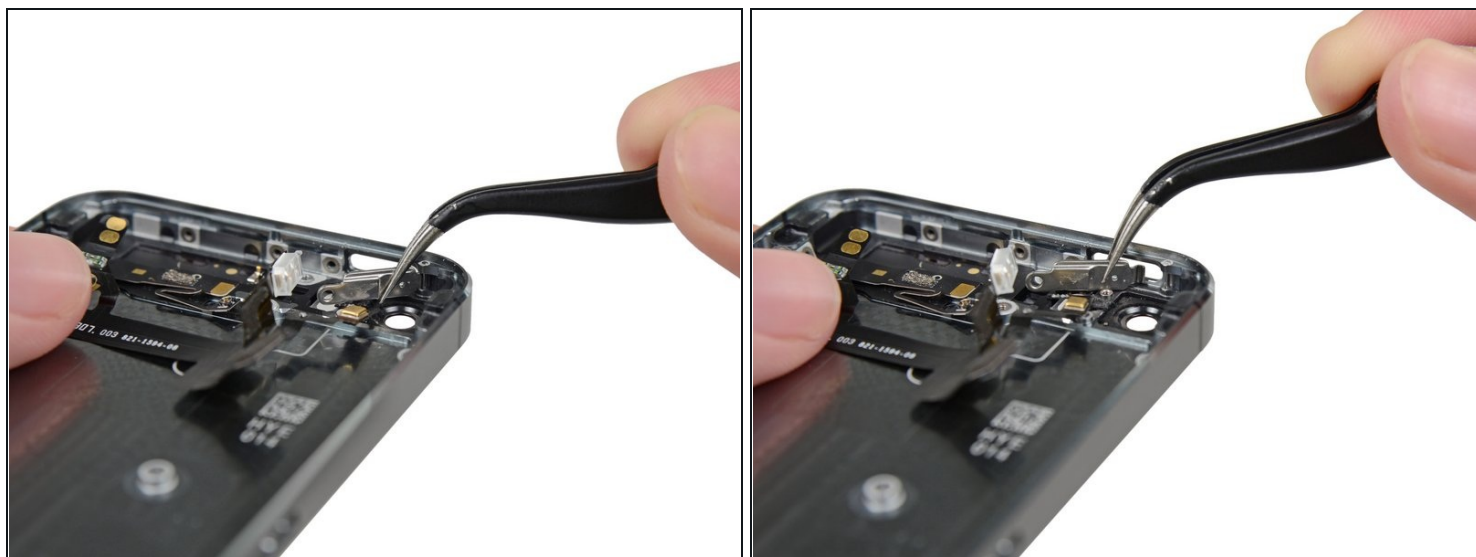
- ピンセットを使って、ケースから電源/スリープボタンプラケットを外します。

手順 65



- スパッジャーの先端を使って、本体から電源/スリープボタンを内側に向かって軽く押します。
 - ピンセットを使ってボタンを取り出します。
- ☑ 再組み立ての際はボタンの配置をご確認ください。2つの「L」字型は上下逆に、メタルバーはボタンの上部に折重なります。

手順 66



- ブラケットを留めているポストから電源/スリープボタンブラケットの蝶番クリップを外します。

手順 67



- iPhoneから上部コンポーネントアセンブリを取り外します。

⚠ このケーブルは壊れやすい先端で、大変裂けやすくなっています。ケーブルを剥がす作業中に抵抗を感じたら、作業をすぐに中止してください。スパッジャーをケーブル全体の下に差し込み、再度ケーブルを押し上げます。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。